

教育理念

黒保根から世界を見つめ、世界へ羽ばたく人材を

- 9年間の小中一貫教育の中で、少人数の良さを生かした教育課程を編成し、計画的な指導や支援により、生きる力を身に付けた児童生徒の育成を目指します。
- 「確かな学力の向上」「英語教育」「ふるさと黒保根学」を柱とした特色ある教育を推進します。
- 地域と協働し、地域と共に歩む学校を目指します。

学校教育目標

9年間の一貫教育を通して、郷土を愛し、自ら学び、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた児童生徒を育成する

『育みたい(子ども達が身に付けたい)5つの力』

子ども達と職員、保護者や地域の方々で共有

- 1 人を大切にする力
- 2 自分から動き出す力
- 3 自分で決め、自分の考えをもつ力
- 4 思いや考えを発信する力
- 5 チャレンジする力

具体目標 自ら学ぶ子 心豊かな子 たくましい子

目指す児童生徒像

<p>知 自ら学ぶ子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く課題に取り組み、基礎的な学習内容を身に付けた子 ・主体的、対話的に課題に取り組み、学習を深められる子 	<p>徳 心豊かな子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら心を磨き、自他を大切にし、互いの多様性を認め合える子 ・人を思いやり、誰とでも仲よく協力し合える子 	<p>体 たくましい子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら体を鍛え、体力の向上を図り、心身ともに健やかな子 	<p>英語教育・国際理解教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら英語に慣れ親しみ、必要な場面で身に付けた英語を使ったコミュニケーションができる子 	<p>郷土愛 地域理解教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと黒保根学」での学習を通して、郷土黒保根についての理解を深め、愛着や誇りがもてる子 ・ふるさとの魅力を自らの言葉で表現、発信できる子
--	---	--	---	---

目指す学校像

○児童生徒と教職員、保護者、地域の方々の信頼・協力関係を基盤とした学校

【児童生徒から見て】
「通うのが楽しい学校」

【保護者から見て】
「学校のためなら協力したいと思える学校」

【地域から見て】
「支え合いのある学校」

【教職員から見て】
「明日も働きたいと思える学校」

目指す教師像

- 子ども達一人一人を大切に、分かりやすい授業実践を心がける教師
- 児童生徒の気持ちに寄り添える教師
- 互いに尊重し、協力し合い、高め合う教師
- 保護者や地域と協働した学びを大切にしている教師
- ワークライフバランスを意識し、実践する教師



英語教育・国際理解教育

早期からの英語教育

コミュニケーションツールとして生きて働く英語の定着

- ①教育課程特例校による、3、4年の英語科の導入、早期からの一貫した英語教育、小1からの外国語活動
- ②保育園から英語に慣れ親しみ、多言語・異文化を受け入れながら、英語が使える児童生徒を育成
- ③姉妹校である西町インターナショナルスクール(西町IS)との授業交流、稲作を中心とした行事交流の充実
- ④すべての英語の時間にALTとのTTを行い、実践的なコミュニケーション能力を育成
- ⑤課外授業での専属英会話講師の指導による生きた英語の習得



確かな学力

少人数を生かした個に応じた指導による学力向上

- ①少人数であることを生かし、9年間の学びの連続性を考慮した弾力的でゆとりある教育課程の編制・実施
- ②発達段階に応じ、教員の専門性を生かし、教員単任制の実施
- ③少人数を生かし、一人一人に目を向け指導の充実
- ④ICT機器を活用し、主体的な学習で深い学びの実現
- ⑤放課後や夏季休業中の補習における、補充・発展的な学習の実施
- ⑥望みし学習習慣や学習規律、アウトメディアの確立
- ⑦家庭学習と連動した基礎基本の確実な習得



地域理解教育

地域に根ざし、連携・協働した教育活動

- ①9年間一貫した「地域理解」をテーマに、発達段階に応じた「ふるさと黒保根学」の編成・実施・評価
- ②子どもの「生きる力」や「社会性を育む」ために、総合的な学習の時間や、地域社会との関わりを重視した体験活動、探究的な学習等の充実
- ③豊かな自然や伝統文化のある黒保根地域に根ざした、9年間一貫した地域理解学習(町探検 地域理解学習、職業体験学習、黒保根再発見学習等)の実施による、郷土黒保根を愛し、誇りをもつ指導の充実
- ④米作り、八木節等の豊かな自然や伝統文化を生かした体験活動の一層の充実、学校支援隊を中心とした地域人材の活用
- ⑤地域との合同行事の実施(運動会、地域防災、もちつき等)
- ⑥学校・家庭・地域の連携・協働による、学校づくりを通じた地域コミュニティの形成



義務教育9年間〔4・3・2 ブロック制〕で、少人数の良さを生かしたきめ細やかな指導の充実

前期〔1～4年〕

学びの土台作り期 (学級担任制)

★学習習慣と学習規律の確立★

知：進んで学習に取り組む子
徳：誰とでも仲良く助け合える子
体：明るく元気に、粘り強く頑張る子

中期〔5～7年〕

学びの定着・拡充期 (教科担任制)

※5、6年は一部教科担任制
★学習と生活の自立(自律)★

知：主体的に課題解決に取り組む子
徳：互いを認め合い、協力する子
体：最後までやりぬく子

後期〔8～9年〕

学びの深化・発展期 (教科担任制)

★進路を見据えた学力の定着、社会的自立(自律)への基礎固め★

知：筋道を立てて考え、分かりやすく表現できる子
徳：人を思いやり、支え合える子
体：自分の夢に向かい、挑戦する子

自律した姿

コミュニティ・スクール(学校運営協議会・学校支援隊)

*「自律した姿」のイメージ…人の考えを尊重した上で、課題を自分事として捉え、自ら考え、判断し、責任をもって行動しようとしている